



まちの VOL.63

サークル

国見茶道クラブ

プロフィール

- ・代表者 市川 公子
- ・活動日 毎週木曜日
- ・主な活動場所 観月台文化センター
- ・会員数 7人
- ・会費 1,000円/月
- ・連絡先 ☎ 585-2445

国見茶道クラブは昭和46年に結成され、45年以上活動が続いているサークルです。結成当時の会員は8人で、毎月2回、茶道の稽古を行っていました。途中、指導いただいた先生が亡くなられたり、会員も高齢になるなど、茶道クラブを続けていくことが難しく感じる時期もありました。近隣自治体の茶道サークルは次々と活動を休止していききましたが、歴史あるサークルを絶やしてはけないとの思いから、会員一

同頑張って活動を続けてきました。現在の活動は、毎週木曜日に観月台文化センターの茶室に集まり、会員の古川さんの指導で茶道の稽古をしています。以前は、町文化祭で来場者へお抹茶のふるまいをしたり、県の国際交流事業では外国からのお客様をお茶でおもてなしするなどさまざまな活動に取り組んできました。今では会員も高齢となり、以前のように多くのイベントでお茶のふるまいをするといった活動は少なくなりましたが「茶道裏千家 松風会」のみなさんと協力して町のイベントに参加するなど、できる範囲で活動しています。活動日にはみんなで集まり、稽古しながら、お話しすることが楽しみで、活動日を心待ちにしています。

茶道クラブでは和やかでゆったりとした雰囲気の中、茶道を通して会員同士の交流を深めています。お茶に興味のある方は、お声えがけください。

墓地（通路等）の除染を実施します

町では、本年度の事業として検討しておりました墓地（通路等）の除染を町内16社で組織する「国見町復興有限責任事業組合」に委託し実施します。

事前の墓地除染モニタリング調査結果に基づき、11箇所の墓地（通路等）が除染の対象となります。



あんぽ柿の出荷が始まりました

国見町の特産品であるあんぽ柿は、原発事故による2年間の出荷自粛を経て、出荷再開後今年で4年目を迎えます。

本年産のあんぽ柿は、昨年同様、原則トレー出荷により全量非破壊検査後に出荷されることとなりますが、平成26年産、27年産のあんぽ柿出荷実績でスクリーニングレベル超過製品がないなどの一定の条件を満たした生産者の方は、全量検査のうえ個包装製品の出荷が可能となりました。

11月15日には、JAふくしま未来国見営農センターに設置したトレー用の非破壊検査機が稼働し出荷が始まりました。また、個包装製品は、12月中旬より伊達市のあんぽ工房みらい、桑折町の伊達果実農業協同組合に新たに設置する機器により検査を開始し、本格的な出荷が再開される予定となっています。

町では、あんぽ柿の出荷に合わせ、11月20日に開催されたかながわ商工会まつりにおいて、生産者、国見ジュニア応援団も参加しながら、風評払拭と特産品のPRを実施しました。今後は、太田町長も参加し、首都圏でのトップセールスや関係機関と連携しながらさまざまなイベントなどに参加し、町特産品あんぽ柿の風評対策、PR事業を実施していくこととしています。



あんぽ柿検査の様子



赤レンガ倉庫でのPR

除染の進捗状況（11月30日現在）

- 1 道路除染
平成28年度は、町内全域の88.2kmを発注しており、作業終了は45.0km（進捗率51.0%）です。
- 2 森林（生活圏）除染
平成28年度は、主に森江野方部の宅地等の生活空間に隣接している森林の除染4.8haを発注しており、作業終了は3.5ha（進捗率72.9%）です。

樋口 桃の

本田 直也

仲野 美悠

佐藤 綾香

いさなみオたち

県北中学校